

支援プログラム【人間関係・社会性 WG】

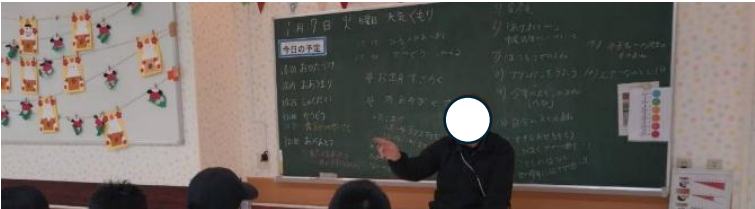
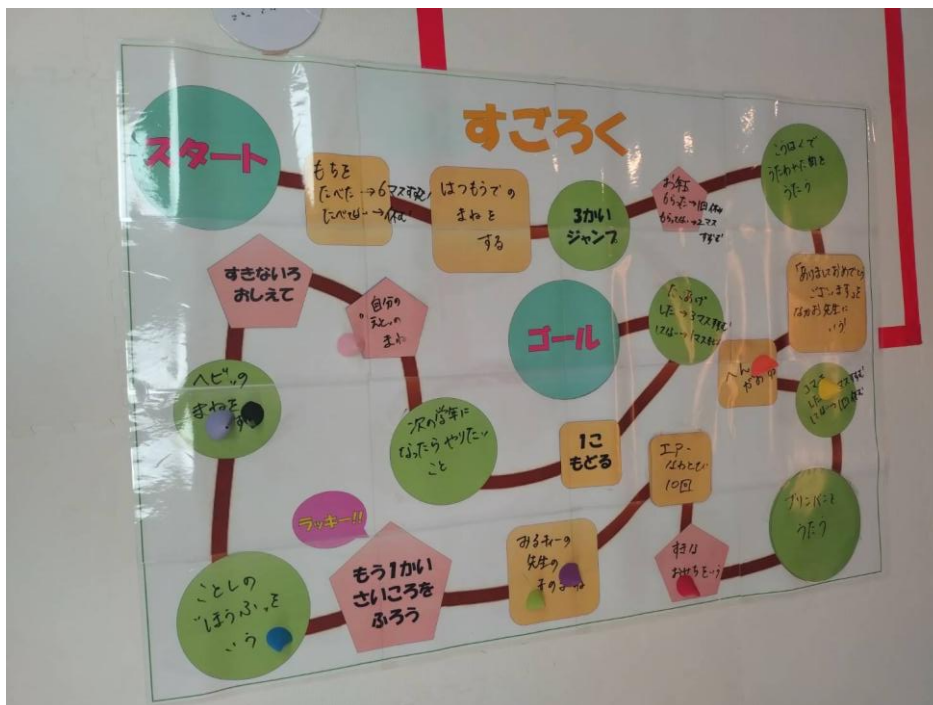
対象児	小学 1～3年生	小学 4～6年生	中学生・高校生
目的	すごろくの内容を一緒に考え、実践する事で話し合う事や会話のやりとりが増えてほしい （話し合いや他児との会話のやりとりの中で社会性や協調性を学んでほしい）		
支援内容	<p>活動名：すごろく会話</p> <p>① お題を提示し、すごろくの内容を協力して考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予めいくつか内容を考えておくと、子ども達も考えやすい 何人かの他児と身体を動かす内容も動きもありとっても Good です 例) 3 回ジャンプ・エアなわとびをする等 例) 二人で手を繋ぎ 10 秒数える。出目に当たった時に他児にその質問を振る <p>☆☆誰かと協力できる内容を積極的に入れる☆☆</p> <p>② 子ども達で考えてもらった内容を黒板にどんどん書き出していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はお正月パターン、今回はふわふわ言葉パターン、色んなパターンで構成可能 <p>図 1 みんなでお題を考えている場面</p>  <p>③ 実践</p> <p>完成したすごろくで実際に遊んでみる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サイコロを振る 2. 出た目の内容に対して、皆の前で発表をする(もしくは、アクション) 3. 本人と別の誰かも含む内容の出目では、一緒に発表できるように援助を行う 4. 思った目が出なくて崩れた児には支援員がつき一緒にルールの確認や援助を行う <p>・</p> <p>図 2 遊んでる様子</p>		



図 3 完成したすごろく

WG
メンバー

赤木・野口・宇田